

さんま通信

春



厚生中央病院だより 第25号 2011年



消化器病センターを設立しました

消化器病センター(内科)医師 春山 晋

突然ですがこの度2011年4月より消化器内科と消化器外科を統合し新しい診療科消化器病センターを立ち上げることになりましたので、御紹介させていただきます。

・なぜそのようなことをするのか？

消化器疾患は食道、胃、小腸、大腸などの消化管や肝・胆嚢・膵臓といった臓器にわかれ、それぞれの臓器における病気も幅広く多岐にわたります。出血性胃潰瘍では消化器内科、急性虫垂炎であれば消化器外科など大まかな疾患の振り分けはありますが、疾患の多様性から単純に病気が外科疾患もしくは内科疾患のみとは限りません。例えば、消化器内科で治療をしている人が突然消化器外科で手術が必要になった場合はどうするのか？といった具合です。当然今までもそのような状況はあったわけですが、消化器内科と消化器外科でカンファレンス（症例検討会）を定期的に行い情報の共有を行い診療方針を決定してきました。それを“消化器病センター”という診療科に統合することで内科・外科の垣根がなくなり、多様化する病態に、より柔軟に、より迅速に、より高度な治療を提供できれば！ということで立ち上げることになりました。

・消化器病センターになると今までとどう変わるのか？

現在当院に通院している方で外来受診や診療が特に変わるということはありません。担当医もそのままです。

変わることと言えば、今まではお腹が痛くて病院を受診したいけど消化器外科を受診していいのか消化器内科を受診していいのかわからないといった場合があります。しかし今後は、特に悩まずに消化器病センターを受診して頂ければよいということになります。

紹介状を持参して受診される場合も同様です。消化器内科もしくは外科あての紹介状どちらでも消化器病センターを受診された後、しかるべき担当医が今後の治療方針を説明させていただきます。

今後も患者様がよりよい環境で、円滑に当院に受診出来ますように更なる質・サービスの向上に努めて参ります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

目次 contents

消化器病センターを設立しました … 1

血液内科のご案内 …… 2~3

電話による初診予約について
目黒健康フェスティバルに参加しました … 4

どうして
さんま通信なの？

目黒で野駆けをしていた殿様が、初めて召しあがる“さんま”にいたく感激。お城で再び食べてみたが、美味しくない。即座に『さんまは目黒に限る！』当院も“目黒のさんま”でありたいとの願いを込めて。

血液内科のご案内

.....

血液内科医師

小林 祥子

ご挨拶

.....

当院では平成23年1月より血液内科の診療を開始致しました。

多くの方は血液の病気は特殊で、自分には関係があまりないと思われるのではないのでしょうか。

血液中には3種類の細胞が流れています。赤血球、白血球、血小板の3種類です。

赤血球の病気では〈貧血〉をよく耳にされると思います。赤血球の中に含まれているヘモグロビンという酸素を運ぶ物質が減る病気です。立ちくらみ、胸がドキドキする（動悸）、疲れやすい、朝起きるのがつらい、などの症状があります。

貧血の中では鉄欠乏性貧血がよく知られていますが、ご高齢の方の貧血は単純な鉄欠乏性貧血ではないことが多く、貧血がきっかけとなってがんが発見されることもあります。たかが貧血と思わないで頂きたいと思います。

白血球は体を細菌やウイルスから守ってくれる細胞です。白血球が少ないと肺炎などの感染症になりやすくなります。また白血球ががん化したものが白血病、白血球のうちのリンパ球ががん化して腫瘍形成したものが悪性リンパ腫です。現在、症状がなくても、検診などで白血球の数が多かったり、少なかったりした場合は早めの検査が必要です。

血小板は出血した時に血を止める細胞です。少なくなると、ぶつけてもいないのにあざが出来たり、鼻血が止まらなかったり、歯を磨いたときに出血するなどの症状があります。非常に少なくなると脳出血、多くなると脳血栓などの命にかかわる病気をおこすことがあります。

検診などで、血液細胞が少ない、多い、などの異常が指摘された場合は、お気軽に血液内科を受診して下さい。



スタッフ紹介

小林 祥子

日本内科学会認定医、日本血液学会専門医、指導医、Infection control doctor

青田 泰雄

日本内科学会認定医、日本血液学会専門医、がん治療認定医、人間ドック認定医

外 来 日

	月	火	水	木	金	土
午前	青田		小林		小林	小林(隔週)
午後			小林		小林	

診療科紹介

当科では、急性及び慢性白血病、骨髄異形成症候群、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの血液悪性腫瘍、また再生不良性貧血、特発性血小板減少性紫斑病などの血液疾患の診断と治療にあたっています。血液内科はゲノム、遺伝子、再生医療、分子標的療法など基礎医学研究で得た発見を臨床医学の現場で活かす（Bench to bed）診療科です。現在、白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの血液腫瘍は分子標的薬などの新規薬剤の開発により、飛躍的な治療成績の向上が認められています。

当科は無菌室が設置されており、白血病の寛解導入療法、再生不良性貧血の免疫抑制療法中の患者さんが安心して治療を受けることができます。また放射線照射設備があり、血液悪性疾患のすべての治療が可能です。

同時に緩和チームサポートのもと、疾患や治療に対する不安を軽減していきます。

また原因不明のリンパ節腫脹、不明熱などの患者さんの診療も当院各科専門医と連携しながら行っています。

最 後 に

今後とも、当院血液内科を何卒よろしくお願い申し上げます。

東日本大震災により被災された皆様へ、心よりお見舞い申し上げますとともに被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

厚生中央病院 職員一同

電話による初診予約について

当院では、患者さまの利便性を向上させるため、初診予約を電話で受け付けております。
(ただし、産婦人科、麻酔科は除きます。)

受付時間 平日(月曜から金曜) 午前9時から午後4時まで
電話番号 03-3716-8124 (予約専用)

*診療の都合によっては、予約時間に診察できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

*初めて受診される方やしばらく通院していない初診の方で、他院からの紹介状をご持参いただけない場合は、保険外併用療養費として初診料に3,150円が加算されます。

目黒健康フェスティバルに参加しました

第5回目黒健康フェスティバルが2月20日(日)に目黒区民センターにて開催されました。

当院も同フェスティバルに参加し、多くの方々にご参加いただき厚くお礼申し上げます。

当日は、目黒区民センターにて当院医師による講演とリハビリスタッフによる「転倒予防教室」を行い、厚生中央病院では手術室や検査科等にて見学・計測ツアーを行いました。来年も皆様方に参加いただける企画を検討いたしますのでよろしくお願いいたします。



病院の理念

- ・私たちは、心の通った温もりを感じる医療を目指します。
- ・私たちは、組合被保険者ならびに地域の人々の健康と福祉に貢献します。
- ・私たちは、病院機能の充実を図り、サービス向上のため日々研鑽します。

基本方針

「健全な経営と安全で質の高い地域中核病院を創造する」

行動目標

- ・私たちは、患者さんから選ばれる病院を創り上げる。
- ・私たちは、効率的で質の高い安全な医療を構築する。
- ・私たちは、安心と誇りを持って働き、一番大切な人を受診させたい病院にする。

患者さんの権利

- ・最良の医療を受ける権利
- ・病気について、理解可能な言葉で説明を受ける権利とその説明に対して意見を述べる権利
- ・プライバシーが守られる権利
- ・転院の権利
- ・診療情報の開示を求める権利

患者さんの義務

- ・自己の療養に関して病院職員に協力する義務

